
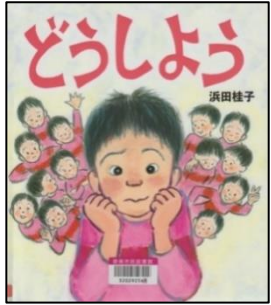


としょかんがすすめるなつやすみのほん(1・2年向き)

『ナナはセラピードッグ』
 ジュリア・ドナルドソン／ぶん サラ・オギルヴィー／え
 BL 出版 (E オ・ナ)
 ダルメシアンの子ナナ。ナナは
 まいにち、かいぬしのローズさん
 といっしょに、びょうきやけがの子
 どもたちがいる大きなびょういん
 にかよっています。ナナは、セラ
 ピードッグなのです。



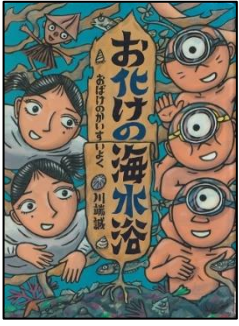
『どうしよう』
 浜田 桂子／作 理論社 (E ハ・ド)
 ぼくはひとりしかないのに、
 「どうしよう」とかんがえはじめたら、
 よわきなぼく、いじわるなぼく、やさ
 しいぼく、いろんなぼくが出てき
 ちゃう。つきつき出てくるあたらしい
 「ぼく」。どれがほんもののぼくな
 んだろう？



『きつねをつれておまつり』
 こわせ たまみ／作 二俣 英五郎／絵
 教育画劇 (E フ・キ)
 きょうは山のおごうの村でおまつりです。おもちゃや
 さんのごんじいは、とうげの道で、
 ばけそになったきつねの男の子に
 であいました。体はにんげんな
 のに、顔はきつねのまま。ごんじ
 いは、男の子におめんをかぶせ
 ておまつりにいきますが…。




『お化けの海水浴』
 川端 誠／作 BL 出版 (E カ・オ)
 おばけたちが、海にやってきました。
 ろくろくびや、すなかけばあ、一つ
 目ごぞう、大にゆうどうなど、おばけや
 しきのおばけたちがせいぞろい。ここ
 は、おばけだけのまべなのです。
 おばけたちは、どんなふう海水浴を
 たのしむのでしょうか？




『きんいろのしかバングラデシュの昔話』
 ジャラル・アーメド／案 石井 桃子／再話
 秋野 不矩／画 福音館書店 (E キ)
 むかし、みなみのくにに金がお
 さまがいた。ある日王さまは森で、お
 どると足もとの砂が金にかわる、金
 いろのしかを見つけた。王さまは、ホセン
 という少年に三日のあいだに、しかを
 つれてくるようめいれいして…。




『ぼく、だんごむし』
 得田 之久／ぶん たかはし きよし／え
 福音館書店 (E タ・ポ)
 こんにちは。ぼくはだんごむし。
 にわのうえきばちの下などにすんで
 いるよ。ぼくたちがたべているものや、
 からだのしくみをおしえるよ。



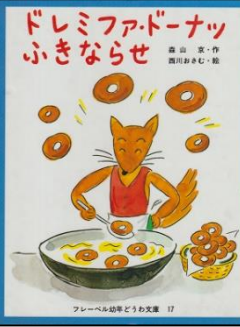
『すいどう』
 百木 一朗／さく 福音館書店 (E モ・ス)
 みんながまいにちつかう水。どこ
 からくるのかな？ つかった水はどこ
 へいくのかな？ せいかつをささえて
 いるすいどうのしくみがわかりや
 すく書かれています。



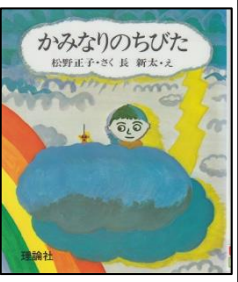
『よわいかみ つよいかたち』
 かこ さとし／著・絵 童心社 (E カ・ヨ)
 本と本のあいだにわたしたハガキ
 でつった橋。そのままと10えんだま
 を4まいのせるとおちてしまう。どんな
 くふうしたら、たくさん10えんだまを
 のせることができるかな？ よみながら
 いっしょにかんがえてみよう。




『ドレミファ・ドーナツふきならせ』
 森山 京／作 西川 おさむ／絵 フレーベル館
 (913 モ・ド)
 森の学校に新しくやってきたキ
 ツネ先生はおんがくの先生です。
 おかしをつくることも大すき。
 ドレミの音をふきこんだドーナツを
 つくって、みんなでえんそうしたり、
 キツネ先生のじゅぎょうは楽しい
 ことがいっぱいです。




『かみなりのちびた』
 松野 正子／さく 長 新太／え 理論社 (913 マ・カ)
 夏休みのある日、おなかを出して
 ひるねをしていたひろしは、目をあけ
 ると、かみなりのちびたにおへそをと
 られそうになっていました。ちびたの
 あたまのアンテナみたいなツノが、
 ぴかぴかっとひかいて…。



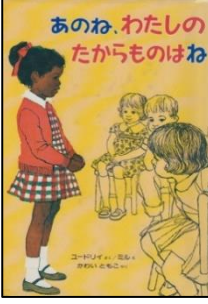
『おひさまやのハンカチ』
 茂市 久美子／作 よしざわ けいこ／絵
 講談社 (913 モ・オ)
 「おひさまや」には、なやみがある
 人にぴったりのものがおいてあります。
 なわとびが上手にとべなくておちこん
 でいたさりなは、「おひさまや」でまほ
 うのハンカチをすすめられて…。




『こぶたのポインセチア』
 フェリシア・ボンド／作・絵 岩崎書店 (933 ポ・コ)
 こぶたのポインセチアの家はすてきて、いごこちもい
 いけれど、家族が多すぎるのがなや
 み。しずかに本をよみたいのに、お気
 にりのばしよには先にだれかがいる。
 なんとかしてひとりになりたいポイン
 セチアは、ひっこしの時に家にのこる
 ことにしたけれど…。




『あのね、わたしのたからものはね』
 ジャニス=メイ=ユードリイ／作 エリノア=ミル／絵
 偕成社 (933 ユ・ア)
 メアリのクラスでは、まい朝だれか
 がじぶんのたからもの話をするこ
 とになっていました。メアリはみんな
 の前でうまく話せないし、しょうかいす
 るたからものもなかなかきまりません。
 いっしょうけんめいかんがえて、メア
 リが思いついたたからものは…。



『ちびっこ大せんしゅ』
 シド・ホフ／ぶんとえ
 大日本図書 (933 ホ・チ)
 ハロルドは、リトルリーグでいちばん
 小さなせんしゅ。しゅびもバッティング
 も上手じゃない。でもシーズンのさい
 ごのしあいの9回2アウトまんるいで
 ハロルドにでばんがまわってきて…。



『おいしい魚ずかん』
 上田 勝彦／監修
 WILL ことば知育研究所／編
 金の星社 (664 オ)
 わたしたちがたべている魚は、海のだいじなたから
 もの。これからもあんしんしてたべていくためには、どん
 なことをかんがえていったらいいのかな？



**『はがぬけたらどうするの？
 せかいのこどもたちのはなし』**
 セルビー・ビーラー／文 ブライアン・カラス／絵
 フレーベル館 (387 ハ)
 にゅうしがぬけたとき、そのぬけた
 は歯をみんなはどうしていますか？
 せかいの子どもたちはどうしている
 のかな？ せかいの色々なちいきの
 いいつたえや、ふうしゅうをしょうかいしています。

